

## エバレット・ケネディ・ブラウン

(写真家／文筆家／一般社団法人京都会所代表理事)

アメリカ合衆国ワシントン D.C.出身。幕末にマシュー・ペリーと共に黒船来航した写真家のエリファレット・ブラウン・ジュニアは縁戚にあたる。1988年から日本に定住。千葉県にブラウンズフィールドを設立。EPA 通信社の日本支局を設立し、支局長を 2012 年まで務める。ジャーナリストとして日本中を旅し、伝統風俗を学ぶ。姫田忠義や宮本常一、柳田邦男に深く感銘を受ける。2011 年より湿板写真を通じて、日本の古層を古典技法で写し続ける。執筆活動のほか講演を定期的に行う。諸省庁の文化推進カウンセラーを多く務める。観光庁のインバウンドのスローガン“Japan, Endless Discovery.”を提案。まちおこしのアドバイザーとして、新潟県小千谷市、福島県相馬市、広島県府中市上下町、佐賀県基山市、島根県松江市、福井県永平寺町、岩手県遠野市、福岡県添田町などに関わり成果をおさめる。

